

# 令和2年度 事業報告書

---



## 社会福祉法人 ほうりんかい 峰林会

特別養護老人ホーム峰林荘  
短期入所生活介護事業所  
峰林荘通所介護事業所  
すずらん訪問介護事業所  
あかり居宅介護支援事業所  
ゆうゆうケア・ワン

# 運 営 理 念

「他人（ひと）を思いやる心」

1. ここでは、みんなが家族です
2. 明るく豊かな生活をめざして
3. 地域、家族の幸せをめざして
4. 健康で明るい地域福祉の発信所

## 目 次

I. 法 人.....	3
II. 特別養護老人ホーム 峰林荘.....	8
III. 峰林荘短期入所生活介護事業所.....	11
IV. 医務課.....	11
V. 栄養調理課.....	12
VI. 各種委員会.....	13
VII. 峰林荘通所介護事業所.....	17
VIII. すずらん訪問介護支援事業所.....	18
IX. あかり居宅介護支援事業所.....	19
X. デイサービスセンターゆうゆうケア・ワン.....	20

## 〈 令和 2 年度 峰林会 事業報告 〉

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い事業計画など運営上さまざまな内容の変更が余儀なくされた 1 年であった。

要支援及び要介護高齢者へのサービスの提供という特性から感染の発生及び拡大の危険性が高い事業であるため、「感染症を持ち込まない、広げない」ために、職員一丸となって、感染予防対策の拡充と徹底を進めてきた。

また、法人理念のひとつである「地域に開かれた施設」という運営にも「ニューノーマル」な考え方の導入が必須となり、ウェブ面会や窓越し面会などの新たな取り組みもスタートしているが、今後、感染症と共存しながらどのように地域の方々との交流機会を作っていくかは継続的な課題である。

同時に、安定したサービスの提供と質の向上を目指し、これまで準備してきた人事及び給与、その他事務所業務の効率化と適正化について新たな組織体系での運営を開始した。

### I. 法 人

#### 1. 理事会の開催

第 1 回（令和 2 年 5 月 2 3 日） ※感染予防のため「書面決議」

承認第 1 号	令和元年度事業報告について	承認
承認第 2 号	令和元年度決算報告について	承認
議案第 1 号	文書規程の一部改定について	可決
議案第 2 号	定時評議員会の招集について	可決
職務執行状況報告		

- ・職員の入職退職について（平成 3 1 年 4 月～令和 2 年 3 月）
- ・電力料金の支出について

東京電力から JXTG エネルギー㈱へ切り替え（令和 2 年 1 月～）

第 2 回（令和 2 年 1 1 月 1 5 日）理事 5 名 監事 2 名

議案第 3 号	定款の変更について	可決
議案第 4 号	訪問介護事業の休止について	可決
議案第 5 号	収入支出補正予算について	可決
議案第 6 号	個人情報保護規程の制定について	可決
議案第 7 号	個人情報保護規程に係る関連方針等の制定について	可決
議案第 8 号	役員慶弔規程の一部改正について	可決
議案第 9 号	顕彰規程の制定について	可決
議案第 10 号	職員給与規程の一部改正について	可決

議案第 11 号 退職金支給規程の一部改正について	可決
議案第 12 号 苦情解決規程の制定について	可決
議案第 13 号 第三者委員の選考について	可決
議案第 14 号 評議員会の招集について	可決

職務執行状況報告

- ・令和 2 年度組織の見直し、人事異動について
- ・家族等との面会について
- ・新型コロナウイルス峰林荘運営マニュアルの作成、活用について
- ・対外的行事の中止について
- ・人事調査の実施について
- ・人材確保対策について
- ・技能実習生の受け入れについて
- ・事業継続計画（BCP）の見直し作業について
- ・オートレース（JKA）福祉車両助成申請について
- ・施設内照明・LED の切り替えについて
- ・食事提供方法の一部変更について（9 月から）
- ・その他の報告

新型コロナウイルス感染症対策を行う事業所・施設への支援、職員への慰労金について

インフルエンザ感染予防接種終了

移動スーパー（カスミ）の販売拠点の一つに峰林荘玄関前を利用

第 3 回（令和 3 年 1 月 2 0 日） ※感染予防のため「書面決議」

議案第 15 号 施設長等の任免について	可決
議案第 16 号 理事を選任する評議員会議案について	可決
議案第 17 号 評議員会の招集について	可決
職務執行状況報告	
なし	

第 4 回（令和 3 年 3 月 2 1 日） ※感染予防のため「書面決議」

議案第 18 号 個人情報保護規程等の一部訂正について	可決
議案第 19 号 役員慶弔規程の一部改正について	可決
議案第 20 号 職員給与規程の一部改正について	可決
議案第 21 号 パートナー職員給与規程の一部改正について	可決
議案第 22 号 人事考課規程の改正について	可決
議案第 23 号 令和 2 年度第 2 次収入支出補正予算について	可決
議案第 24 号 令和 3 年度峰林会事業計画について	可決
議案第 25 号 令和 3 年度峰林会収入支出予算について	可決

議案第 26 号 評議員会の招集について

可決

職務執行状況報告

- ・災害時事業継続計画書の改定について
- ・新型コロナウイルス感染症発生時対応事業継続計画書の策定について
- ・LED 照明切り替え工事の実施について
- ・新型コロナウイルス感染症関連について  
発症者報告  
茨城県が実施する福祉施設への PCR 検査
- ・新たな技能実習生の受け入れ

## 2. 評議員会の開催

第 1 回（令和 2 年 6 月 7 日） ※感染予防のため「書面決議」

報告第 1 号 令和元年度事業報告について

承認

承認第 2 号 令和元年度決算報告について

承認

報告第 2 号 文書規程の一部改定について

職務執行状況報告

- ・職員の入職退職について（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）
- ・電力料金の支出について

東京電力から JXTG エネルギー㈱に切り替え（令和 2 年 1 月～）

第 2 回（令和 2 年 11 月 15 日）評議員 6 名 監事 2 名

議案第 1 号 定款の変更について

承認

議案第 2 号 訪問介護事業の休止について

承認

議案第 3 号 収入支出補正予算について

承認

報告第 3 号 個人情報保護規程の制定について

報告第 4 号 個人情報保護規程に係る関連方針等の制定について

報告第 5 号 役員慶弔規程の一部改正について

報告第 6 号 顕彰規程の制定について

報告第 7 号 職員給与規程の一部改正について

報告第 8 号 退職金支給規程の一部改正について

報告第 9 号 苦情解決規程の制定について

報告第 10 号 第三者委員の選考について

職務執行状況報告

- ・令和 2 年度組織の見直し、人事異動について
- ・家族等との面会について
- ・新型コロナウイルス峰林荘運営マニュアルの作成、活用について
- ・対外的行事の中止について
- ・人事調査の実施について

- ・人材確保対策について
- ・技能実習生の受け入れについて
- ・事業継続計画（BCP）の見直し作業について
- ・福祉車両助成申請について
- ・施設内照明・LEDの切り替えについて
- ・食事提供方法の一部変更について（9月から）
- ・その他の報告

新型コロナウイルス感染症対策を行う事業所・施設への支援、職員への慰労金について

インフルエンザ感染予防接種終了

移動スーパー（カスミ）の販売拠点の一つに峰林荘玄関前を利用

### 第3回（令和3年1月27日） ※感染症予防のため「書面決議」

報告第11号 施設長の任免について

可決

議案第4号 理事の選任について

可決

職務執行状況報告

なし

### 第4回（令和3年3月28日） ※感染症予防のため「書面決議」

議案第5号 令和2年度第2次収入支出補正予算について

承認

議案第6号 令和3年度峰林会事業計画について

承認

議案第7号 令和3年度峰林会収入支出予算書

承認

報告第12号 個人情報保護規程等の一部訂正について

報告第13号 役員慶弔規程の一部改正について

報告第14号 職員給与規程の一部改正について

報告第15号 パートナー職員の給与規程の一部改正について

報告第16号 人事考課規程の改正について

職務執行状況報告

- ・災害時事業継続計画書の改定について
- ・新型コロナウイルス感染症発生時対応事業継続計画書の策定について
- ・LED照明切り替え工事の実施について
- ・新型コロナウイルス感染症関連について  
発症者報告  
茨城県が実施する福祉施設へのPCR検査
- ・新たな技能実習生の受け入れ

## 3. サービス向上への取り組み

感染予防のため職員のスキルアップのための研修は動画視聴等で行ったが、十分な研修は行えなかった。業務マニュアルの作成は、人員不足で行えなかった。職員間の情報

共有はグループウェアのホットビズを活用した。地域との連携とボランティアの受入は、感染予防のため何も行えなかった。安全管理・リスクマネジメントは、事故予防の意識をしっかりとって日常業務をすることが重要である。

#### 4. 組織強化への取り組み

理事会、監事会、評議員会の開催は、感染予防のため書面決議で対応した。魅力ある組織づくりの推進は、二つのデイサービス事業所でツイッターでの情報発信を行った。管理機能の充実として、諸規定の見直しを行い、運営のための規程の制定を行った。広報活動ではホームページの更新と広報誌の内容充実に努めた。ホームページ等が職員募集の応募動機の一つになることが増えるようにする。法人パンフレットの更新ができたので、居宅介護支援事業所の事業所利用の働きかけや入居申込者と家族に施設の理解を深めることに役立てることができた。業務分掌と責任体制の明確化は、充分には浸透しきっていない。会議の在り方の再確認はできたが、すべての会議の実施は難しかった。

#### 5. 人材確保・育成への取り組み

高等学校2校の訪問をした。技能実習生2名の受け入れに向けた対応をした。キャリアパスを意識して研修受講者の推薦をした。新しい人事考課制度を導入した。企業主導型保育園2ヶ所と連携し、子育てしながら働く環境を整備した。職員健康診断を峰林荘地域交流ホールで実施し、職員が健診を受けやすい体制にした。永年勤続表彰制度を充実させた。

#### 6. 経営基盤充実への取り組み

コスト削減のため、職員が意識して無駄がないように努めた。

#### 7. 安全対策・災害時への取り組み

空調環境の改善のため、地域密着棟への仕切り扉の亚克力板3枚のうち2枚を撤去した。外壁塗装の塗り替えは、感染予防のためできなかった。施設内の定期巡回を衛生管理者が毎月、実施した。災害対策としてペットボトルの飲料水の更新と上水道貯水槽に蛇口を設置し、生活用水に使用できるようにした。感染予防のため地域住民との合同での避難訓練はできなかった。

#### 8. 新型コロナウイルス感染症予防対策

状況に応じた対応マニュアルの見直しを随時行い、衛生用品等の備蓄品の確保に努めた。補助金を活用して、空気清浄機や加湿器、掃除機、電気衣類乾燥機、コードレス掃除機、亚克力板、オンライン面会と介護記録用のモバイル機器を購入した。モバイル機器は納品が遅れている。

## Ⅱ. 特別養護老人ホーム 峰林荘

入居者が安心・安全に生活していただけるよう、入居者の毎日の暮らし、季節ごとの行事、家族の面会、荘内の環境整備、研修の実施等コロナウィルス感染症対策の観点から、一年を通し状況に応じた見直しを図った。

制約のある中、職員間のコミュニケーションを大切にし、家族への状況報告にも努め、質の高いサービスの提供を目指した。

### 1. 入居者概況（令和2年度末）

#### （1）ユニット棟：40床

##### ①要介護度状況

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	0	1	5	1
女	1	11	13	6
計	1	12	18	7
割合（%）	2.6	31.6	47.4	18.4
平均介護度	<b>3.8</b>			

##### ②保険者別入居者状況

	守谷市	中野市	大田区
男	7	0	0
女	29	1	1
合計	36	1	1

#### （2）地域密着棟：20床

##### ①要介護度状況

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	0	1	1	2
女	2	7	3	4
計	2	8	4	6
割合（%）	10	40	20	30
平均介護度	<b>3.7</b>			

##### ②保険者別入居者状況

	守谷市	取手市
男	4	0
女	15	1
計	19	1

### 2. 全体行事

#### （1）施設内行事



桜花見会は各ユニットで3月末から4月はじめに開催。

8月に予定していた夏祭りは感染予防対策のため実施できなかった。

敬老会は節目に当たる年齢の入居者12名の家族を1名限定で招いて9月に実施。

12月のクリスマス会は各ユニットで開催。

## (2) 地域との関係（夏祭り）

例年であれば地域と一緒に夏祭りを楽しむが、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のために中止した。

## 3. 地域との取り組み

### (1) 地域行事への参加

新型コロナウイルス感染対応により中止

### (2) 地域との連携

総合防災訓練

施設内（入居者、職員）で実施

カスミの移動スーパー（週1回）

地域の方々に、安全でより気軽に買い物を出来るように場所を開放した。

## 4. ユニット棟 もみじ

- ・毎月ユニット会議を開催、申し送りノートを活用し、入居者の変化やケアの確認・ケアの再検討を行う等、情報共有に努めた。
- ・日常の暮らしの中で入居者に洗濯物畳み等を行ってもらい、役割を持って頂き意欲的に暮らして頂く様に努めた。
- ・毎月の誕生会の開催、季節の行事を開催した。
- ・外出に関しては、コロナウイルス感染予防の為行う事が出来ず、感染症対策を行う中でも楽しみを持って頂く機会を増やしていく事は課題として残った。
- ・24Hシートの作成は行ったが、活用出来るところまでは至らなかった。

## 5. ユニット棟 ひまわり

- ・職員間のコミュニケーション、また連絡帳を用い情報共有に努めた。
- ・誕生会や季節の行事を行った。
- ・日々の家族との面会時や電話により、状態の報告に努めた。
- ・季節感のある暮らし作りのために、ユニット内の飾り付け、菜園作り、花見を行った。
- ・介助方法の見直しを行い、より本人に見あった介助、環境の整備を行った。
- ・新型コロナウイルス対策として、ユニット内の消毒、マスクの着用を行った。
- ・24hシートの見直し、取り組み行えていません。

## 6. ユニット棟 すみれ

- ・新しい取り組みとして、オムツ用品など備品の配置の変更、入居者ができる体操の実施、

職員間で介護方法や時間の統一を行った。

- ・ユニット費を活用して、パズルやミニゲームなど入居者のレクリエーション用品を充実させるとともに、備品の修理、買い替えなど環境整備に努めた。
- ・職員間のコミュニケーションを図り情報共有に努めた。
- ・24シート作成の為、職員各位担当入居者様の聞き取りを行ったが、作成は途中になってしまった。

## 7. ユニット棟 花みずき

- ・入居者のケア方法の再度見直しを行い、最適化を図った。(食事、排泄)
- ・申し送りはノートや日々のコミュニケーションで情報共有を行った。
- ・日々の楽しみとしてコンビニデザートを月一回行った。
- ・オムツ、パットの見直しを図りコスト削減を目指した。
- ・24時間シートは作成しただけで活用は出来なかった。
- ・コロナ対応として居室、共有スペース、手すり等の消毒、換気を毎日行った。

## 8. 地域密着棟

- ・新型コロナウイルス感染予防としてマスクの着用、施設内の消毒を実施した。
- ・アクティビティを活用したケアとして、日替わりで歌や体操、口腔体操など各職員がアイデアを出して行えた。
- ・毎月のお楽しみ会と入居者の誕生会の開催他、行事を部署内で実施した。
- ・施設ケアマネジャーや生活相談員と連携を取り、入居者の状態や現状の報告を家族にし、必要に応じサービス担当者会議を実施した。
- ・家族の面会制限の中、窓越しでの面会で対応した
- ・入居者の日用品、消耗品の管理、調整を行った。

## 9. 地域密着運営推進会議

会議開催数 6回(奇数月)

2か月に1回、守谷市介護福祉課、峰林荘地区担当民生委員、入居者家族代表者参加のもと、峰林荘地域密着型の状況と取り組みの報告をし、峰林荘の特色をより多く発信した。

新型コロナウイルス感染予防のため、施設での会議開催は7月のみで、5月、9月、11月、1月、3月は、書面による報告と意見収集とした。

## 10. 入所検討委員会

7月、12月、2月の3回、新型コロナウイルス感染対策を徹底し開催した。

直接、本人と面接する事が難しく、家族、病院、施設、事業所、担当介護支援専門員等からの聞き取りを行い適正な入所決定を行った。

申込者全員に郵送により現在の状況を把握するための調査を行った。

#### 入居待機者状況（各年度末）

年度	平成 31 年	令和元年	令和 2 年
入居待機者数	69 名	85 名	56 名

#### 1.1. 家族会

新型コロナウイルス感染予防により荘内への立ち入りが制限され、家族を招いた行事は中止とした。面会も県の感染状況に応じて中止とした時期もあり、家族と交流を図ることができない一年となった。

家族会会費より、施設内行事の食事代、お菓子代、花代、クリスマス会のプレゼントとケーキ代、誕生会手作りケーキ代の補助を行っている。施設内行事や誕生会の様子は、写真を添えて近況報告として定期的に家族に送っている。

### Ⅲ. 峰林荘短期入所生活介護事業所

#### 1. 短期入所施設（地域密着型併設 5 床）稼働状況

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
延利用者数	158★	144	113	132	127	139
稼働率 (%)	105	93	75	85	82	93
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延利用者数	138	130	181★	127	120	108
稼働率 (%)	89	87	117	82	86	70

※利用者数は延べ利用者数：ベッド稼働日数★施設空床分を含む

### Ⅳ. 医務課

週 2 回の医師の往診の他、状態変化時等は電子連絡帳にて報告、相談しており、密に医師との連携が持続できている。

入居者の状態変化時、このコロナ禍の中で担当者会議をすぐに開催し家族への状態説明を行うのは困難な状況でしたが、都度電話にて家族に報告し、また、今後の方向性等も電話にて確認を行ってきた。その後、医師から説明をして頂き看取り介護へと進めていた。

介護記録システムの「ケアカルテ」も使って、多職種との連携を図りながら状態把握に努めることができた。

コロナ禍の中で手洗いやアルコール消毒の徹底も行ってきた。ゾーニングやガウンテクニック等の動画を全職員で確認してきた。

コロナ陽性者が発生したが、検査にて全員陰性。これをきっかけに感染対策に強く意識することができたように思う。

今後も気を抜けない状況であるので感染対策に取り組んでいく。

## 1. 主な取り組み

### (1) 医務会議の開催

毎月第二火曜日に開催し、報告や特記事項等について検討した。

### (2) 誤薬、飲み忘れ対策

各部署リーダーと協議し、対策案等を協議した。

### (3) 新型コロナウイルス感染症対策

多職種と連携しながらマニュアルを作成し適宜更新を行った。

また、アルコール消毒や手洗いの徹底、ガウンテクニック等の動画を確認。

## 2. 定例的な取り組み

### (1) 入居者・職員の定期健康診断（さくらがわ地域医療センター健診部）

入居者：11月 職員：5月→11月

5月は緊急事態宣言中の為、11月に実施

夜勤者健診 8月に実施 腰痛問診は介護職全員実施

### (2) 入居者の体重測定（1回／月、又は状態変化時）

### (3) 入居者、職員の感染症対策：インフルエンザ予防接種実施（11月）

## V. 栄養調理課

### 1. 季節を感じ、楽しめる献立・食事を提供する。

献立作成は、旬の食材や果物を取り入れたり、また、地域の方に頂いた食材などを使って美味しく楽しい食事になるよう献立を立てた。また、盛り付け方法や提供方法の工夫で行事感を味わえる安全かつ美味しい食事提供を行った。

定期的に品物の品質と価格の検討・見直し・仕入れ業者・スーパーの市場価格を参考にしている。また、仕入れ業者より市場の動きの情報をいただき、そこで品物の選定をしている。

### 2. 個人個人のレベルに合わせて食べてもらう工夫を行う

嗜好の個人差や身体的機能の低下により食べる行為そのものが困難になった利用者には、少しでも食事を食べて頂けるように、こまめに食事観察を行ない、多職種でコミュニケーションを取り連携し、試行錯誤しながらもそれぞれの個人に合わせた食事形態などの対応を図った。

### 3. 業務推進マニュアルの作成

厨房内作業の効率化・衛生管理の徹底・食中毒発生防止・食事仕分けミス防止につ

いては、話し合いながら見直しをすることができた。

現在、中番、遅番の業務マニュアル改正中。また、新たに掃除チェック表等を作成し活用しながら衛生管理の徹底・食中毒発生防止に繋げている。調理員は安全で美味しい食事提供を行えた。

#### 4. 他職種連携・協力にて情報共有に努め、栄養的サポートを強化する

委員会、担当者会議、厨房内会議等を毎月開催し、情報発信や意見交換を行った。多職種とコミュニケーションを密にとり情報の共有をし、入居者一人ひとりの栄養ケアマネジメントを行い、嚥下状態や栄養状態に合わせた食事提供で利用者の健康維持向上に繋げた。また、身体レベルや状況に応じた栄養補助食品やトロミの調整、自助具の選別や検討も行った。

#### 5. 自然的排便に近づけるため、食品やオリゴ糖での排便コントロールを行う。

薬のみでの排便コントロールではなく、献立にヤクルトやヨーグルトを入れ、希望によりオリゴ糖の摂取で排便サポートを行った。

## VI. 各種委員会

### 1. 安全衛生委員会

職員がより働きやすい職場環境づくりに向けて、産業医と連携しながら、外的な環境のみでなく、ストレスの解消などの内的な取り組みを行った。産業医による全体研修は感染予防のため行えなかった。職場環境の快適性、安全性などのチェックを毎月1回行い、快適な環境作りに努めた。

#### (1) 健康診断

5月に予定していたが、感染予防のため延期になり11月に実施した。

#### (2) ストレスチェック

3月に実施した。

### 2. 安全対策委員会

新型コロナウイルス感染症マニュアルを作成し、感染症対策委員会を適時開催しマニュアル作成や見直し等実施した。コロナ情報も会議の中で適宜報告した。

看取りについて多職種連携のもと、医師の判断で看取り介護の書類を交わした。適宜家族への状態変化時に報告をした。

#### (1) 感染症

感染症に関しては適宜多職種や上司と相談しながら対応等を検討した。感染症対策情報及び制限などの対応への理解を家族に求めた。

感染症対策委員会の開催。

(2) 看取り

看取りに関しては適宜担当者会議等で多職種連携のもと話し合うことができた。

(3) インフルエンザ対策

予防接種を全職員・入居者実施。コロナ禍でもあり感染対策の徹底を実施しており、インフルエンザの発生はなかった。

(4) 食中毒対策

食中毒等の注意喚起、衛生管理を行った。

(5) 身体拘束

入居者の自尊心を尊重した制限のない暮らしづくりに向けて努力した。

身体拘束具の排除はもちろんのこと、生活空間、動作、精神的な制限などが無意識に行われていないか、毎月、身体拘束廃止委員会で現状報告や課題をあげ検討した。

(6) リスクマネジメント

①事故・ヒヤリハット発生件数

男性 34件 女性 92件 延べ人数 <合計 126件> ※峰林荘(含む短期)

②発生状況

事故内容		発生時間帯		発生場所	
転倒	39	6時～11時	48	居室	41
転落	18	12時～17時	42	ホール	39
誤食	3	18時～24時	22	浴室	12
誤嚥	1	0時～5時	10	トイレ	16
誤薬	10	不明	4	廊下	10
徘徊	1			玄関前	1
器物破損	1			他入居者居室	1
盗難・紛失	1			寮母室前	1
表皮剥離、出血、内出血等発見	47			不明	2
異食、食便	2				
無断外出	1				
尻もち	2				

### 3. 防災委員会

地域住民と合同で避難訓練を含めた防災訓練を実施予定であったが、感染予防のため最小人数の職員で2回（日中・夜間想定）実施した。訓練時には防災設備の点検及び使い方の確認と検証をした。

(1) 避難訓練

7月 7日（日）〔日中想定〕

11月24日（日）〔夜間想定〕

(2) その他

災害時に必要な備品の確認及び整理をした。

#### 4. 研修委員会（全体・OA化促進勉強会）

施設内全体研修は感染予防のため、職員が集まる研修はできなかった。個人で視聴できる動画配信による研修を行った。

年月	内容	主催
令和2年11月	事業継続計画（BCP）作成研修	茨城県社会福祉施設協議会
令和2年11月	身体拘束廃止取組職員向けセミナー	茨城県老人福祉施設協議会
令和2年12月	介護サービスを提供する際の衛生管理	厚生労働省
令和2年12月	リスクマネジメント研修	茨城県老人福祉施設協議会
令和2年12月～ 令和3年1月	ガウンテクニックと手洗い (YouTube)	福岡インターネットテレビ 江戸川区公式チャンネル えどがわ区民ニュース
令和3年1月～5月	新しい生活様式における福祉施設のあり方	全国老人福祉施設協議会
令和3年2月	褥瘡対策（ポジショニングによる対策）	茨城県老人福祉施設協議会
令和3年2月	経管栄養カテーテルオペレーション	ナースの星
令和3年2月	介護保険制度講演会	茨城県福祉サービス振興会
令和3年2月	介護報酬改定解説	全国老人福祉施設協議会
令和3年2月	介護報酬改定セミナー	常陽銀行
令和3年3月	腰痛予防講演会	茨城県福祉サービス振興会

#### 5. 給食・褥瘡予防委員会

(1) 給食

栄養士・調理師（員）会議を月一回開催し情報伝達や意見交換を行った。給食については、季節や行事を感じられ彩りも配慮し、楽しく、美味しく、安全な食事やおやつを日々提供し、利用者の食事摂取量や食事形態を、多職種連携にて情報交換を行い対応することができた。また、栄養補助食品等の検討を行い提供することができた。

(2) 褥瘡予防

職員で情報交換をしながら褥瘡の早期発見や状態把握に努め、月1回医務会議（情報交換）を実施した。

褥瘡の写真を定期的に撮り、介護記録システム「ケアカルテ」で評価するという形

で状態把握を行い共有した。

モニタリング等多職種情報交換し、対策検討実施。

## 6. 環境整備・メンテナンス委員会

### (1) 故障や建物の不具合

設備担当職員を1名配置しスムーズに修理対応ができた。感染予防対策で外部に依頼する修理は、最小限の人数で行った。

### (2) LED 照明の切り替え

令和2年12月に峰林荘全館の照明をLED照明に切り替えた。

令和3年3月にゆうゆうケア・ワンの照明をLED照明に切り替えた。

### (3) 公用車買い替え等

車種 (ナンバー)	初年度登録	部署	時期	備考
ミラ (814)	平成16年10月	すずらん訪問	令和2年4月	廃車
ハイゼット (33)	平成19年2月	あかり居宅	令和3年2月	下取り
タント (9582)	平成20年9月	あかり居宅	令和2年11月	下取り
タント (1006)	平成22年6月	峰林荘短期	令和2年9月	下取り
キューブ (2962)	平成23年6月	ゆうゆうケア・ワン	令和2年9月	めぶきリース切替
セレナ (2974)	平成23年6月	ゆうゆうケア・ワン	令和2年9月	めぶきリース切替
レジアスエース (222)	平成24年4月	ゆうゆうケア・ワン	令和2年9月	めぶきリース切替
アルト (2008)	令和2年8月	あかり居宅		めぶきリース新規契約
アルト (2010)	令和2年10月	あかり居宅		めぶきリース新規契約

令和3年4月に軽車両1台を廃車し、令和3年5月現在の公用車総数14台（内リース車9台）

## 7. 広報活動委員会

### (1) 峰林会パンフレットの更新

令和2年10月に内容を刷新して1,000部印刷した。

### (2) 写真コンクール（主催・県老人福祉施設協議会）に応募

広報委員会委員長賞 1点、秀作5点、入選1点

### (3) 広報紙「虹だより」発行

令和2年7月、令和3年3月

## 8. 苦情処理委員会

苦情や要望を真摯に受け止めて、質の高い介護サービスを提供したいが、報告数が少なく、苦情をだしやすい環境づくりが今後の課題である。

事業所名	内容	対応
峰林荘	看取りになった家族より、職員の言葉使いが乱暴なので改善してほしい。	乱暴な言葉遣いの職員に、気を付けるように指導した。
短期入所	発熱時の対応や解熱後の利用再開	短期入所、通所ともに利用中止と再会



	の対応が曖昧。	のマニュアルを作成した。
峰林荘通所	苦情の申し出はなかった。	
あかり居宅	担当介護支援専門員の交代は3か月前に知らせてほしい。	交代の連絡が遅くなったことを謝罪した。
ゆうゆうケア・ワン	苦情の申し出はなかった。	

## Ⅶ. 峰林荘通所介護事業所

利用者と日々コミュニケーションを積極的に取りながら、些細な変化に気付く体制を取っている。90歳以上の利用者が多いので体調などに合わせたサービスを提供する事ができた。

また、職員間で口頭や申し送りノートにて情報共有を行うことができ、他事業所には身体状況の変化などがあった場合には、情報を提供し他職種連携を図った。利用者の希望に合わせて、特養入居中のご家族との面会の付添いを行った。「1年以上会えなかったので、会えて嬉しかった」と入所中の家族の声が聞けて利用者も喜んだ。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、ボランティアの受け入れは控え、毎月担当職員を中心に利用者が楽しめる内容のレクリエーションや行事を計画・実施し、新しいレクリエーションは、情報誌やネットを活用し取り入れた。

外出の行事は、利用者の安全を第一に考え行うことができなかったが、天気の良い時には散歩等行い、気分転換を図ることができた。

毎月第3水曜に関係職員で、デイサービス会議を開催し現状で困っている事や業務について話し合いを行い、サービスの質の向上に努めた。

送迎時に家族とのコミュニケーションを図り、家族・自宅での生活で困っている事などの把握やアドバイス、ケアマネジャーへの情報提供を行った。

月に1回の広報誌（アムール）やツイッターで行事内容を掲載し、利用者がデイを楽しむ表情などの情報発信ができた。

安全運転や地域の見守りを心掛けながら送迎を行い、車両メンテナンスは、運転職員が積極的に行い綺麗な車両を保つことができた。

### （1）月別利用者実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
32	32	30	29	30	32	31	30	32	33	34	34	379

### （2）月別利用者延べ人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
254	250	264	278	236	245	260	233	251	255	263	311	3,100

平均利用延人数 258 人（令和元年度 285 人）

(3) 年齢別利用者数（令和3年3月）

区分	男	女	計	割合（%）
～64	0	0	0	0
65～74歳	0	1	1	3%
75～84歳	3	4	7	21%
85～94歳	4	15	19	55%
95歳以上	1	6	7	21%

(4) 行事への取り組み

季節ごとに季節感の感じられる行事企画を立て、「見る」「食べる」「体験する」を基本コンセプトとして取り組んだ。

月	内 容	日常の取り組み
4	花見会	じゃんけんレク、バラの壁飾り、ふわふわ渡しゲーム、写真レク、こいのぼり制作
5	鯉のぼりドライブ	けん玉レク、タオルゲーム
6		紫陽花の花制作、お手玉タワー、魚釣り、気球のちぎり絵
7	七夕	七夕飾り、風鈴制作、あさがおの壁飾り
8		お手玉ゲーム、タコ釣り、目指せホールインワンゲーム、打ち上げ花火ゲーム
9	敬老会・手作りおやつ	お花制作、ブドウと花瓶制作、ビンゴ
10		秋のモビール制作、リンゴの壁飾り
11	手作りおやつ	錦鯉のちぎり絵
12	クリスマス会	クリスマスツリー飾りつけ・縁起熊手制作、ビンゴ
1		書初め・福笑い
2	節分	的当てゲーム、つるし雛制作
3	雛祭り 桜花見ドライブ・お花見散歩	桜の花制作、数字レク、チューリップとクローバーの壁飾り

定例行事 書道、手作り昼食・おやつ、音楽クラブ、華道クラブ

カレンダー作り・誕生会－毎月

学習療法（脳トレ）－毎日

傾聴ボランティア「ジャスミン」－毎月

（新型コロナウイルス感染予防の為、令和2年2月より受入中止）

## VIII. すずらん訪問介護支援事業所

職員間のコミュニケーション・情報共有に努め、利用者にストレスが掛からないようサービスの提供を円滑に行った。ケアマネジャー・他事業所との連携を図った。車両の点検等の

環境整備及び安全運転を心がけた。

毎月すずらん会議を行い、情報の共有を図った。申し送りノートを活用し、情報共有に努めた。

訪問時や担当者会議時の家族とのコミュニケーションを大切にした。訪問時の利用者の状態変化等はケアマネジャーを通し連絡した。地域包括支援センターとの連携を図った。

ヘルパー員の補充ができないため令和3年4月より休業する。

(1) 保険者別利用者数

守谷市	33名
つくばみらい市	1名
合計	34名

(2) 要介護状態区分別 利用者数・訪問回数

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
利用者数	8	5	10	6	3	2	0
訪問回数	385	273	983	370	552	81	0

## Ⅸ. あかり居宅介護支援事業所

令和元年度から事業所の体制が評価される特定事業所加算を取得し、週1回定期的に会議を行い事業所としての質の向上を目指した。

担当者会議や退院時カンファレンスの参加、入院時情報提供書の提出等医療や多職種との一層の連携を図った。

週1回あかり会議として定例会議の開催や、年2回事例検討会、地域ケア会議、研修においては、新型コロナウイルス感染予防の為、リモート会議による研修等積極的に参加し地域の実情や介護保険の情報については情報提供に努めた。

利用者の自立やその人らしい暮らしをめざし、支援していく姿勢を持ち、利用者や家族、各関係事業所、医療関係者との連携強化に努めた。

### 1. 介護給付実績件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	129	124	129	128	124	130	132	126	128	122	120	121

### 2. 介護予防給付実績件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	30	30	34	35	37	37	37	38	39	38	39	38

### 3. 守谷市要介護認定の更新調査委託業務

感染拡大予防のために依頼がなかった。

## X. デイサービスセンターゆうゆうケア・ワン

### 1. 実施状況

新型コロナウイルス感染症の収束もまだ見通しがつかず、日々変わる情報を確認しながら、利用者に安全で安心なサービスを提供することに職員一丸となって取り組んだ一年だった。国からの助成金により、空気清浄機・加湿器・サーキュレーター・洗濯機など感染症対策のための設備を整えることができた。

また、事業所の全照明を LED 照明に交換し施設内が明るくなり、今後の経費削減にも繋がることが期待できる。

利用者増の取り組みにおいては、コロナ禍ということもあり、利用者・家族・関係機関との細やかなコミュニケーションに心がけ、個々のニーズに合わせた柔軟な対応とより良いサービスの提供に努めた。

毎日のミーティング実施、また定期的な「ゆうゆう会議」と「各研修」により、情報の共有と、各職員が自らの「振り返り」を行い、サービスの質の向上に努めた。

コロナ禍のため消防署の立ち合いはなかったが、火災を想定しての避難訓練を 11 月と 12 月に実施し、職員・利用者ともに避難時の心得を再確認した。

令和 3 年 4 月よりの介護保険報酬改正では、加算における大幅な動きがあり、今後の動向に合わせた体制整備を行い、適切な対応をしていきたい。

引き続き、新型コロナウイルス感染症においては、日々変化する情報の把握を行い、引き続き利用者・家族に協力をいただきながら、感染症拡大防止対策の実施、職員の体調管理の徹底など、これからも安心して安全に利用できるよう努めたい。

### 2. 利用状況

#### (1) 登録者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
51	49	49	51	49	49	50	48	49	48	49	47

(令和 3 年 3 月末 登録者数 51 人)

#### (2) 年齢別利用者数 (令和 3 年 3 月)

区分	男	女	計	割合 (%)
65～74 歳	1	4	5	10%
75～84 歳	4	10	14	30%
85～94 歳	6	20	26	56%
95 歳以上	1	1	2	4%

(3) 利用者延人数

年	令和2年									令和3年			合計
	営業月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
延人数	286	274	347	366	354	347	359	330	325	286	300	359	3,933

平均利用延人数 328人  
(前年度 360人)

3. 行事・レクリエーション

ボランティアの来荘の中止や、大学生の介護等体験、施設行事等も例年通りに提供することが出来なかったが、感染症拡大防止対策をとりながら、日々のレクリエーション活動や、「誕生日会」「お楽しみ会」「おやつ作り」などを行った。

季節に合わせた活動の一つとして、施設隣接の「農園」を有効活用し、花や野菜の種や苗植え作業を楽しんでいただき、成長の過程が楽しみとなっている。今後、機能訓練の一環としても、スロープなど農園に行き来しやすい環境作りを行っていきたい。

今後も状況に合わせ、ボランティアの受け入れや各行事・趣味活動・レクリエーション活動を実施し、利用者一人ひとりの満足度に繋げられる取り組みを行っていく。

月	行事・レクリエーション	作成物・その他
4	花見（ゆうゆうガーデン） 誕生日会	壁面飾り（樹木・鯉のぼり） 鯉のぼりのつるし飾り カレンダー製作（あやめ）
5	ゆうゆう農園イチゴの収穫祭 菖蒲湯 ブルーベリー植樹祭 誕生日会	壁面飾り（干支のねずみ） "（睡蓮・紫陽花）
6	ブルーベリー収穫祭 誕生日会	七夕飾り（短冊） 一輪挿し花瓶作成 壁面飾り（干支・紫陽花）
7	夏祭り（職員による演芸） おやつレク（七夕フルーツポンチ） 誕生日会	一輪挿し花瓶作成 夏の壁面飾り（七夕・ひまわり）
8	野菜の収穫 おやつレク（バナナパフェ） 誕生日会	壁面飾り（ひまわり） 9月のカレンダー作成
9	敬老お祝い（感謝状授与・演芸） 誕生日会	壁面飾り（ぶどう畑） 秋の壁面（柿）

10	おやつレク（どら焼き） お楽しみ会（職員による演芸） 音楽レク 誕生日会	秋の壁面飾り（リンゴ園）
11	おやつレク（芋きんつば） 避難訓練 誕生日会	壁面飾り（菊の花・ポインセチア） クリスマスツリー飾りつけ
12	クリスマス会 音楽レク（ハンドベル合奏会） 柚子湯 避難訓練 誕生日会	冬の壁面飾り（ポインセチア） 干支の置物作成（牛）
1	福笑い大会 音楽レク 誕生日会	干支の壁面飾り（鯛） 干支の置物作成（牛）
2	節分行事 おやつレク（ココアオムレット） 誕生日会	壁面飾り（椿・桜） 雛飾り工作 毛糸玉（ポンポンマット作り）
3	施設周りの花見（河津桜・枝垂れ桃等） 職員による演芸（伝統演芸・よさこい） おやつレク（桜餅） 誕生日会	春の壁面飾り（桜） 足台（牛乳パック）作成 園芸（苗植え付け・種まき）

※その他、毎日のレクリエーション活動については、感染症対策を行いながら状況に合わせて趣向を凝らしたゲームや工作・紙芝居、施設周りの散歩など行った。